

帝国書院『明解 歴史総合』（令和8年度版）〔歴総046-901〕特色一覧

項目	特色
総合的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本のつながりがわかる本文や単元構成によって、世界とその中の日本の近現代史を相互的な視野で学習できる。 ・豊富な特設とコラムで、興味・関心をもち、主体的に歴史を考察する力が育成できる。 ・見通し・振り返りを充実させたことによって、学習内容が着実に深まる教科書になっている。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と世界の相互的な関係を、多面的・多角的にとらえることができるように本文や単元構成が工夫されており、各所に置かれたコラム「世界の中の日本」によって、「世界とその中の日本」の視点をさらに深めることができるようになっている。 ・各地域の風土と前近代史が、巻頭の資料「地域の歩み1～5」で簡潔に紹介されており、近現代史を理解するために必要な知識を習得しやすいように配慮されている。 ・世界を同時代的に概観する地図を多数掲載し、日本と世界のつながりが理解できるようになっている。 ・1部2章「歴史の特質と資料」で、「歴史的な見方・考え方」について例示しながら解説し、資料を読み解いたり、多面的・多角的に考察したりする際に必要な視点がわかるようになっている。 ・部の冒頭にある「部の導入」では、中学校での既習事項や、学習内容と現在との関連性や相違点ができる資料をもとに、生徒自身が「問い」を立てられるように工夫されている。 ・部の終わりにある「部の振り返り」では、「近代化」・「国際秩序の変化や大衆化」・「グローバル化」それぞれのテーマについて、「現代的な諸課題」の形成に関わる近現代の歴史の考察、構想が3ステップで無理なくできるように工夫されている。 ・特設「明解！近現代史」では、部の学習を振り返るにあたり、特に重要な事項や概念の歴史的経緯を、資料や年表、文章から大観できるように工夫されている。 ・特設「生活・文化から見る日本と世界」では、ビジュアルな資料と文章から、日本と世界の文化的なつながりがわかるようになっている。 ・テーマに沿って学習を深める特設「歴史に迫る！」やコラム「歴史の選択肢」が設けられており、アクティブ・ラーニングがしやすいように配慮されている。 ・コラム「未来へ活かす歴史」では、これからの未来を考えるうえで、参考にして欲しい事項を紹介しており、「現代的な諸課題」と関連づけて学習できるようになっている。 ・特設「探究レポート」では、生徒に身近な「もの」や「出来事」をテーマに、重要な事象や概念について理解を深めることができるようになっている。 ・特設「技能を磨く」では、歴史学習に欠かせない重要な技能がまとめられ、歴史的技能を着実に習得し、歴史的な見方・考え方を働かせられるようになっている。 ・巻末の特設「歴史総合 頻出用語解説」で、重要な歴史用語が丁寧に解説されている。
構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に合わせて、重要事項が適切かつ丁寧に解説されている。また、発展的な内容も学習できるように側注欄の解説や資料、特設コーナーが充実している。 ・各部、各章に設置した「部の導入・部の振り返り」、「章扉・章の振り返り」により、学習の「見通し」と「振り返り」がしやすい構成になっている。 ・原則、1時限1見開きで構成され、分量が適量で学習計画を立てやすくなっている。 ・導入資料→学習課題→展開→確認・説明と学習の流れが整理されているため、効果的に学習できるようになっている。
表記・表現及び使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・AB判のワイドな判型を生かして、写真やグラフ、地図などの資料が豊富に設けられており、視覚的にも理解しやすくなっている。 ・本文ページの左上には、導入資料と発問「読み解き」が設置されており、生徒が資料を読み解き、考察する力を身につけられるようになっている。 ・本文ページ左端には、「地域インデックス」を付しており、見開きで扱っている地域を把握できるように工夫がなされている。 ・本文ページの右端の印は、巻末3の歴史年表に対応しており、見開きで扱っている時代を把握できるように工夫がなされている。 ・歴史事象の因果関係を丁寧に記述し、理解しやすい本文となっている。また、中学校で学ぶ漢字の読みにもふりがなを付し、重要語句へのゴシック（太字）も効果的につけられている。 ・中学校で学習した用語は、本文ページ左下の「中学校との関連」コーナーで取り上げられている。 ・本文行間には、関連する事項が扱われているページの参照ページや、関連図版・コラム・QRコードへの図番号・参照マークが振られている。
ユニバーサルデザインへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・本文や側注、キャプションなどの文字は、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォント（UDフォント）が使用され、誤読を防ぐ配慮がなされている。 ・カラーユニバーサルデザインを採用し、色覚特性のある学習者にも読み取りやすい表現になっている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・紙は環境に配慮し、かつ裏写りがしない用紙となっている。 ・使用期間の間、破損することがないように、堅牢なつくりになっている。 ・指導資料や準拠ノートなど、充実した関連教材が用意されている。